

# インボイス反対署名52万



インボイス制度反対と黨邸前に詰めかけた人々。25日、首相官邸前

官邸前  
行動

## 首相は国民の声聞け

岸田文雄首相が10月1日からの施行を視野に消費税のインボイス(適格請求書)制度に対し、反対署名を提出し、中止を求め、官邸前アクションが25日、行われました。オンライン署名数が国内最多の52万3086人分を集めたことを受け、会場の首相官邸前、衆院第2議員会館前に集まった1000人超(主催者発表)が「私たちが声を聞け」とアピールしました。

岸田総理がインボイス中止を決断する番だ」と強調しました。  
日本共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の原田伸太郎、社民党の福島雅之

首のほか、国民民主党、れいわ新選組、インボイス問題検討会・超党派連連から多くの国会議員が参加し、あきさつした志位氏は、免状持主らは、インボイス登録が消費税増税分の負担を軽減する「地獄の二重税」を課せられると訴え、岸田政権がインボイス導入にしがみつくなければ、消費税増税のレベルを数々ためであり、制度はこの経済危機を乗り越えるためであり、野党連年の野性(38)

### 志位委員長も訴え

主催は、オンライン署名を呼びかけてきた「インボイス制度を廃せるフリーランスの会」(STOPOインボイス)です。  
「STOPOインボイス」メンバーでリーダーの阿部伸さんは明会あいさつで、50万余の署名を集めたにもかかわらず「自民党は選挙も防衛も断ったと指摘。『税の負担増から大きな国策の転換を促す』と断言。『税の負担増から大きな国策の転換を促す』と断言。1000人以上の集会を閉じた。『次は政府が選挙の責任を負う』と断言。

「(あす付で詳報) 静岡市から参加した口